

【様式1】

市議会における政策提案とその対策等 〔議案質疑・ <u>一般質問</u> ・委員会〕					
担当課	農業振興課	議員名	中山 光義 議員	提案月	R4.6
〔提案事項〕 令和4年度に実施される水稻営農燃料等高騰対策支援事業については、コロナ禍の一過性の事業としてではなく、水稻営農支援として次年度以降も継続して取り組んでもらいたい。					
〔現況等〕 市内の水稻耕作は、中小零細の兼業農家が大半を占めている。よって、大規模農家だけでなくこれらの中小零細農家を支えていかなければ、市内の水稻耕作は衰退し、耕作を放棄される農地が増えることが想定される。					
〔政策提案を受けての対策〕 原油価格の高騰や物価高による燃料等の価格高騰対策として、水稻農家への「緊急支援」ということで国の新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用して実施しており、現時点においては単年度の事業と考えている。しかし、農業の生産基盤は水稻耕作であり、その基盤を維持していくことは当市の農業政策としては大変重要である。よって、今後の米の価格や肥料、農薬、燃料費等の生産にかかる費用の動き、またそれに対する国や県の支援の動向等を注視するとともに、関係機関とも協議をしながら対応について検討していく。					
〔対応状況・令和5年6月末現在 完了〕 令和4年度に続き、今年度も6月補正にて国の新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用して実施する。（単価など制度設計の一部について物価高騰の状況変化等により修正あり）。					